年間授業計画　新様式

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科　地理歴史　科目　歴史総合　年間授業計画

単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　E　組

教科担当者：（ A組：　矢内 ）（ B組：　矢内 ）（ C組：　矢内 ）（ D組：　矢内 ）（ E組：　矢内 ）（ F組：　　）

使用教科書：（ 帝国書院『明解　歴史総合』 ）

教科　**地理歴史**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　**歴史総合**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１部　歴史の扉 １章　歴史と私たち ２章　歴史の特質と資料	身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解する。 絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と，事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解する。 身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し，表現する。	知識・技能 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 思考・判断・表現 ・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて，アで取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・歴史の扉について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
	２部　近代化と私たち 序章　近代化への問い １章　江戸時代の日本と結び付く世界 １節　アジアの中の江戸幕府 ２節　成熟する江戸社会 ３節　清の繁栄と結び付く東アジア ４節　アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	①近代化に関する複数の資料を分析し，そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 ②資料から得た情報と，中学校までの学習で得た知識を統合し，近代化を読み解く問いを表現する。 ③中学校までの学習を踏まえて，見通しをもって学習に取り組もうとし，問いを繰り返し洗練させていくなど，粘り強く取り組む。 ①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と，日本への影響について，資料を読み取り，理解する。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し，みずからの言葉で表現する。 ③18世紀の世界交易が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。	知識・技能 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通，貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解している。 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 思考・判断・表現 ・近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・近代化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	２章　欧米諸国における近代化 １節　イギリスの革命とアメリカの独立 ２節　フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ３節　フランス革命の影響と国民意識の芽生え ４節　産業革命で変わる社会 ５節　イギリスの繁栄と国際分業体制 ３章　近代化の進展と国民国家形成 １節　1848年～近代ヨーロッパの転換点 ２節　イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ３節　アメリカの拡大と第２次産業革命 ４節　帝国主義と世界の一体化 ４章　アジア諸国の動揺と日本の開国 １節　「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ２節　南・東南アジアの植民地化 ３節　ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争　４節　黒船の来航と日本の対応 ５節　新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ５章　近代化が進む日本と東アジア	①市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について，資料を読み取り，理解する。 ②市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し，みずからの言葉で表現する。 ③市民革命や産業革命が，現代社会に与えた影響と課題について，追究する。 ①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り，理解する。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧，帝国主義が人類に与えた変化について考察し，みずからの言葉で表現する。 ③国民国家や帝国主義政策が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。 ①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について，資料を読み取り，理解する。 ②「西洋の衝撃」の歴史的意義について，アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し，みずからの言葉で表現する。 ③欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。		○	○	○	12

	３章　近代化が進む日本と東アジア １節　新政府の誕生 ２節　近代国家を目指す日本 ３節　日本と清の近代化と日清戦争 ４節　列強の中国進出と日露戦争 ５節　日露戦争が与えた影響	①明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について，資料を読み取り，理解する。 ②明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，みずからの言葉で表現する。 ③明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。					
	定期考査			○	○		1
2学期	３部　国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章　国際秩序の変化や大衆化への問い １章　第一次世界大戦と日本の対応 １節　ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ２節　総力戦となった第一次世界大戦 ３節　ロシア革命と大戦の終結 ２章　国際協調と大衆社会の広がり １節　ヴェルサイユ体制の成立	①国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し，そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 ②資料から得た情報と，中学校までの学習で得た知識を総合し，国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現する。 ③中学校までの学習を踏まえて，見通しをもって学習に取り組もうとし，問いを繰り返し洗練させていくなど，粘り強く取り組む。 ①国際関係の視点を軸に，第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と，参戦各国の社会の変化について，資料を読み取り，理解する。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において，列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し，みずからの言葉で表現する。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。	知識・技能 ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 ・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理 解している。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ・世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次 世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ・現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 思考・判断・表現	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	２節　東アジアの民族自決の行方 ３節　中東・インドの民族自決の影響 ４節　ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ５節　大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ６節　日本における大衆社会の形成 ３章　日本の行方と第二次世界大戦 １節　世界恐慌が与えた影響 ２節　ファシズムの台頭と拡大 ３節　政党政治の断絶と満洲事変 ４節　日中戦争の始まり ５節　第二次世界大戦の展開 ６節　戦局の悪化と被害の拡大 ７節　第二次世界大戦の終結とその惨禍	①ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と，国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について，資料を読み取り，理解する。 ②新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し，みずからの言葉で表現する。 ③ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と，２０世紀前半における大衆社会の到来が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。 ①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について，大衆とマスメディアの関わりに着目しながら，資料を読み取り，理解する。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで，大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し，みずからの言葉で表現する。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と，大衆の戦争協力が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・国際秩序の変化や大衆化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	４章　再出発する世界と日本 １節　戦後の新たな国際秩序 ２節　冷戦の始まり ３節　日本撤退後の東アジア ４節　日本の改革と独立の回復	①冷戦構造の形成と，国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について，日本と関連付けながら資料を読み取り，理解する。 ②国際連合を中心に，第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで，戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し，みずからの言葉で表現する。 ③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。	知識・技能 ・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 ・石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。	○	○	○	4
	４部　グローバル化と私たち 序章　グローバル化への問い	①グローバル化に関する複数の資料を分析し，そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 ②資料から得た情報と，中学校までの学習で得た知識を総合し，グローバル化を読み解く問いを表現する。 ③中学校までの学習を踏まえて，見通しをもって学習に取り組もうとし，問いを繰り返し洗練させていくなど，粘り強く取り組む。	・冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 ・歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 思考・判断・表現 ・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第二次世界大戦の国際経済政策の特徴，政治体				

3学期	１章　冷戦で揺れる世界と日本 １節　アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ２節　冷戦下における日本の復興 ３節　第三勢力の形成と脱植民地化 ４節　中東戦争とパレスチナ問題 ２章　多極化する世界 １節　揺らぐアメリカと先進各国の変化 ２節　「経済大国」日本の模索 ３節　経済発展に取り組むアジア・南米諸国 ４節　イスラーム復興と冷戦への影響 ３章　グローバル化の中の世界と日本 １節　冷戦の終結と変わる世界構造 ２節　冷戦の終結が与えた世界への影響 ３節　超大国アメリカと中東情勢 ４節　国際環境の変化と日本 ５節　グローバル化による国際社会の変容	①冷戦下の緊張と緩和の経緯と，そのなかでの日本の高度経済成長や，脱植民地化を目指す動きについて，資料を読み取り，理解する。 ②冷戦下の世界と日本の動向について，政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し，みずからの言葉で表現する。 ③冷戦下における各国の動向が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。 ①冷戦下の１960年代から80年代における各国の選択と経済成長について，資料を読み取り，理解する。 ②各国の選択を比較し，「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し，みずからの言葉で表現する。 ③冷戦下における各国の政治的・経済的選択が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。 ①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について，資料を読み取り，理解する。 ②グローバル化の進展や地域統合，ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し，その特質や問題点をみずからの言葉で表現する。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が，現代社会に与えた影響と課題について追究する。	係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・グローバル化と私たちについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70